



## 太陽光発電所通電式！シンコーエネルギー株式会社

10月21日(月)、町内持留(西持留集落内)において、『シンコーエネルギー株式会社大崎太陽光発電所通電セレモニー』が行われました。

大崎太陽光発電所は今年5月に工事を着工。敷地約1.8haにパネル4500枚を設置し、今回の通電セレモニーとなりました。年間発電量は113万キロワット時(一般家庭300世帯相当)を見込んでおり、渡辺社長は、「環境にやさしいので、地域に役立てれば。」と話されました。

また、渡辺社長より『地域の振興に役立ててほしい』と寄付金の寄贈していただきました。



▲通電セレモニーを行う渡辺社長と東町長



## 町民の模範となるように！安全運転マグネットシート交付

11月5日(月)、志布志警察署(濱田英行署長)から本町に対し、安全運転啓発用マグネットシートが交付されました。

これは、本年度(平成25年4月～平成26年3月まで)『安全運転管理モデル事業所』に指定された本町公用車に『上向き下向きライト切替推進車』と『安全速度ペースメーカー』と書かれた2種類のマグネットシートを貼り、地域の交通安全意識の高揚を図る目的で送られたものです。

濱田署長は、「県内の交通死亡事故が昨年に比べ増加して厳しい状況にあります。マグネットシートを公用車に貼っていただき広報をお願いします。」と話されました。



▲濱田志布志警察署長から受け取る東町長



## 昔を知る！永吉天神段遺跡現地説明会

11月9日(土)、公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財センターが調査している『永吉天神段遺跡』(档ヶ山集落内)の一般住民向けの現地説明会が開催され、町内外から約300名が参加しました。

標高約50mのシラス大地の上にある永吉天神段遺跡は、東九州自動車道建設に伴い、平成23年度から調査されています。説明会では、これまでに発見されている縄文時代早期(約1万年～約8,000年前)の集石遺構や土器、弥生時代の集落跡(竪穴住居跡40基など)、中世(12世紀中頃)の墓について詳しく紹介され、参加者らは興味深く聞き入っていました。今後の調査にも期待が寄せられます。



▲発見された集落跡を見学・説明を受ける参加者